あたたかい医療をみんなの手で―
Human
“きみつだより”
ドン・メルチョー・カベルネ・ソーヴィニヨン号
NO.25　平成10年10月20日発行
編集責任者　茅野　嗣雄
編　集　者　“HUMAN”編集委員会
玄々堂 君津病院　〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代)

第9回 玄々堂君津病院研究発表会
かずさアカデミアホールにて開催

院内各部署間の情報交換及び職員の資質向上を目的に始められた研究発表会。今回はかずさアカデミアメインホールに会場を移し、動くスライドやビデオを駆使した新しい発表形式が目を惹いた。

第九回玄々堂君津病院研究発表会が、七月二十三日かずさアカデミアホールにおいて開催された。

今回は院外から袖ケ浦さつき台病院、君津訪問看護ステーション、院内から検査科、事務部、臨床工学科、医務部と、計六題の研究発表があった。

また、特別講演は『大腸がんで死なないために』と題し、日本外科学会会長の東京大学医学部腫瘍外科教授・武藤徹一郎先生により、近年増加が著しい大腸がんについて、食事や日常生活、検査から手術に至るまで講演して頂いた。

今回は、一般公開も行われ、参加者は職員・院外医療関係者も含め四〇〇余名で、終始盛況のうちに閉会した。

（関連記事二面に掲載）

すばらしい会場・発表形式・内容の研究発表会

保険・経営について院内で講演会開催

九月十六日、十七日の二日間にわたり管理棟大会議室にて、（株）槇コンサルタントオフィス代表取締役、槇孝悦氏による講演が行われた。初日は、参加希望者約百名を対象に「介護保険と医療保険」（病院経営はどうなるか）というテーマで、地域における在宅医療・看護・介護のニーズと病院の医療サービスのあり方について、二日目は、医局、各部署主任、副主任を対象に、「今後の病院経営とローコスト対策」というテーマで病院経営の健全化・安定化に寄与する対策や、医療従事者の意識改革などについて講演された。今後の病院経営において、職員一人一人のコスト意識、医療の質の向上といった課題が改めて認識させられる講演であった。

第二回マナー教室 冠婚葬祭について講演

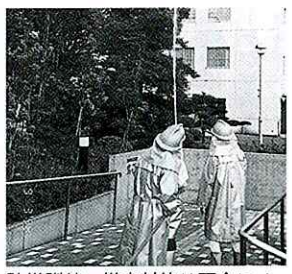
九月十日、管理棟大会議室において、第二回マナー教室が開催された。今回もマナーコーディネーターの岩下宣子先生を講師に招き「冠婚葬祭のマナー」と題して、主に葬について講演が行われた。

内容はのし袋の書き方、服装、焼香の仕方などで、岩下先生のテンポの良い話術で引き込まれる講演であった。

すぐに役立つ…冠婚葬祭についてのマナー教室

大規模地震災害を想定 防災訓練行われる

九月三日、防災週間にちなんで防災訓練が行われた。今回は大規模地震災害を想定した防災訓練であった。地震による火災発生を想定し、消防署へ直接つながる火災通報装置や、新館の屋内消火栓を初めて使用した本番さながらの訓練となった。参加者も真剣に取り組んでいた。


防災訓練…災害対策は万全に！

人間ドックのすすめ

教育担当婦長
二階病棟・ドック管理婦長　二瓶　律子

病院の増改築工事に伴い一時お休みさせて頂きました人間ドックを七月一日より再開することが出来ました。ドック（ｄｏｃｋ）とは、もともと「船舶の建造・修理・検査をするための施設（新明解国語辞典）」という意味です。それにたとえて「私たち人間の健康状態を検査でチェックし、早期発見・早期治療を行いながら健康の維持増進をはかるところ」が人間ドックということになります。健康にどんなに自信があっても、現在のような社会環境では食事やたばこ、ストレス等から来る影響は多かれ少なかれあります。かつては「成人病」といわれていた病気も単に年齢の積み重ねでおきるのではなく、それまでの生活習慣の積み重ねから引き起こされるという意味で、現在では「生活習慣病」というようになりました。また「環境ホルモン」という物質の存在も話題になり、何かと健康を阻害する因子が私たちの中からもたくさん存在する時代になってきています。環境破壊がこのまま進んだらこの先人類はどうなっていくのでしょうか。

なんだかスケールの大きな話になってしまいましたが、そんな今だからこそ私たち一人一人が「健康」を意識し、大切に考えなくてはならない時なのだと思います。

自分の健康のためにちょっと立ち止まってみませんか?今までの生活を見直してみませんか?そして自分では気づかないところのチェックに「人間ドック」をご利用下さい。一泊二日で無理なく全身のチェックができる検査を組んであります。たとえもし何かが見つかっても早期発見・早期治療は健康回復への近道キップとなるのです。

一人の健康は家族みんなの財産になります。そして社会全体の健康でもあるのです。世の中を憂う前に今できることを私たち一人一人から始めてみませんか。

ドックにご入院の際には二階病棟の専属スタッフが心を込めてかかわらせて頂きます。人間ドックの詳しい内容・申込等につきましては外来受付カウンターへお気軽におたずね下さい。

看護記録を考える…フォーカスチャーティング

九月二十八日、看護部記録委員会主催のフォーカスチャーティング講演会が、かずさアカデミアホールにおいて開催された。参加者は院内・院外の看護職一〇〇名であった。講師には聖路加看護大学教授岩井郁子先生をお招きして、記録の概念、定義、フォーカスチャーティングの基本要素、書き方を学習した。看護部では、今年度より看護内容の充実へ向けフォーカスチャーティングに取り組んでおり、今回の研修は有意義な学びの場となった。

看護部研修
フォーカスチャーティング講演会

バレーボール大会 惜しくも破れる

七月五日千葉ポートアリーナにて第二十二回千葉県病院対抗バレーボール大会が開催された。参加チームは男子七チーム、女子九チーム（何れも六人制）で、当院は、予選リーグ第二試合に県立ガンセンターに二対一、第四試合君津中央病院Bに二対一と惜しくも二戦二敗の結果だった。

気持ち良い汗…白熱した試合

君津市民ふれあい祭り 八十一名参加

八月九日、恒例の第三回君津市民ふれあい祭りが開催された。当院からも総勢八十一名の職員がいやさか君津踊りに参加した。君津駅南口の大変な盛り上がりの中、ハッピ姿で新君津音頭のリズムに合わせて踊り、元気に練り歩いた。

熱気が伝わる当院の踊り

救急患者 受け入れ委員会発足

この度当院において、救急外来受け入れ検討委員会が発足した。これまで入院ベッド数の不足等の問題から、救急患者を全て受け入れる事が不可能であったが、今回の病院増築に伴いベッド数も増加し、この問題も解消された。これにより今後、当院では救急患者全てを受け入れていく方針であり、地域医療への貢献がますます期待される。

看護学生実習 受け入れ準備始まる

来年四月より平成短期大学看護学生の実習生を一二〇余名受け入れるにあたり、その体制作りに向け準備が始まった。

病院ボランティア 一般受け入れ活動開始

九月一日より一般の方を病院ボランティアとして五十名迎え、外来でのご案内、病棟でのお話相手、簡単な手作業などをして頂いている。初めてで戸惑いながらの活動ではあるが、専用の黄色と緑のエプロンをかけ、皆生き生きと活動されている。

十年勤続者 ハワイ旅行へ出発

九月二十一日～二十六日まで、十年勤続表彰としてハワイ旅行へ出発した。今年は計十四名が参加し、観光やショッピングなど思う存分満喫したひとときを過ごした。

（関連記事三面に掲載）